



未来へつなぐ

TANOPOでつなぐ活動の輪～多様な人材との協働で描く農村～



水土里ネットとちぎ（栃木県農地水多面的機能保全推進協議会）

目次

イントロダクション

3

栃木県の現状と課題

7

TANOPO：解決策と挑戦

9

成功事例：小さな奇跡から大きな変化へ

13

未来への展望：次世代とつなぐTANOPO

19

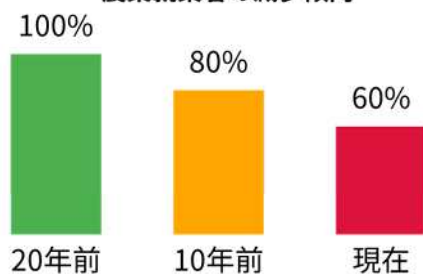
イントロダクション

農村地域では、地域農業者の高齢化と後継者不足が深刻化し、農業を継続することが難しくなり、自然環境を保全することが困難になっています。

これは、癒しとなる農村風景や動植物の生息など多面的機能を維持していく上で、解決しなくてはならない課題です。

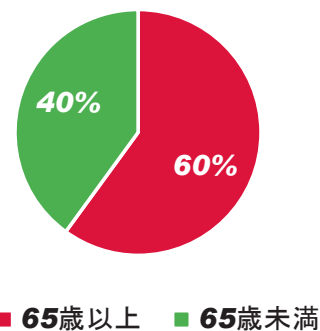
「持続可能な農業」「農村の維持活動」には、女性参画や非農家、都市住民、企業、大学など多様な人材の確保が急務であることを活動組織との座談会で共有、TANOPOを活用して多面的機能支払交付金活動への人材の確保と育成を図り、農業農村の活性化支援を目指します。

農業就業者の減少傾向



- ・ **赤** : 農業就業者人口は過去20年間で約**4割**減少
- ・ **オレンジ** : 65歳以上の農業就業者の割合が約**6割**を占める
- ・ **緑** : 基幹的農業従事者数も10年間で約**2割**減少

農業就農者の年齢構成



なぜ今、「多面的機能」か

農業・農村は、私たちが生きていくために必要な『めぐみ』をもたらしてくれます。

『めぐみ』は「多面的機能」と呼ばれ、洪水を防いだり、生き物を育んだり、美しい風景を形づくったりと様々な役割を果たしています。しかし、近年の人口減少や高齢化により、集落機能が低下し、これらの機能を維持することが難しくなっています。例えば、農業用水路に土砂や雑草が溜まると大雨の際に住宅や多くの施設に影響が発生することがあります。多面的機能の『めぐみ』を維持するには、地域全体で農地や水路の点検や手入れを続けることが重要であり、農村は、私たちの暮らしに欠かせない「多面的機能」を担っています。「多面的機能」は、国の宝物です。住んでいる場所や職業に捉われず、日本人が協力し守り続け、美しい日本を次の世代に繋ぎましょう！



人の生活を守る



人の生活を豊かにする



自然と生きる



未来に繋げる



「多面的機能の広報活動による理解促進」

草刈りや水路の管理は農村を災害から守る命を巡らせ私たちを未来へ導く。

とちぎの大地、未来を育む。

人の生活を 守る

- 洪水を防ぐ
- 土砂崩れを防ぐ
- 土の流出を防ぐ
- 安らぎをもたらす

豊かにする

- 川の流れを安定させる
- 地下水をつくる
- 暑さを和らげる

未来に 繋げる

- 生き物を育む
- 景観を保全する
- 文化を伝承する
- 体験の場を提供する

栃木県農地水多面的機能保全推進協議会
<https://tcgnouchimizu.net/>
 栃木県農業センター 1360 (本上四ツツとちぎ駅)

TANOPO つながる広場

農業に携わる人と農業に関わりたい人をつなぐ
 無料マッチングサービス

「子どもの多面的機能に対する想い」



TANOPOの役割と本日のテーマ

挑戦1 オンラインの交流の促進

オンラインで行政や組織間の交流による情報の共有、意見交換が可能。

従来の「見るだけ」でなく、全国の誰もが容易に「参加できる」サイトの構築。

挑戦2 意見集約とマッチング

農村と都市住民とをつなぐオンラインプラットフォームで、研修や交流を支援し、双方のニーズに対応した効果的なマッチングの実現。

挑戦3 多面的機能の活用

オンライン研修プログラムの実施、地域イベントでのPR活動、若手農業者のネットワーキングイベントの開催。

栃木県の現状と課題



現状

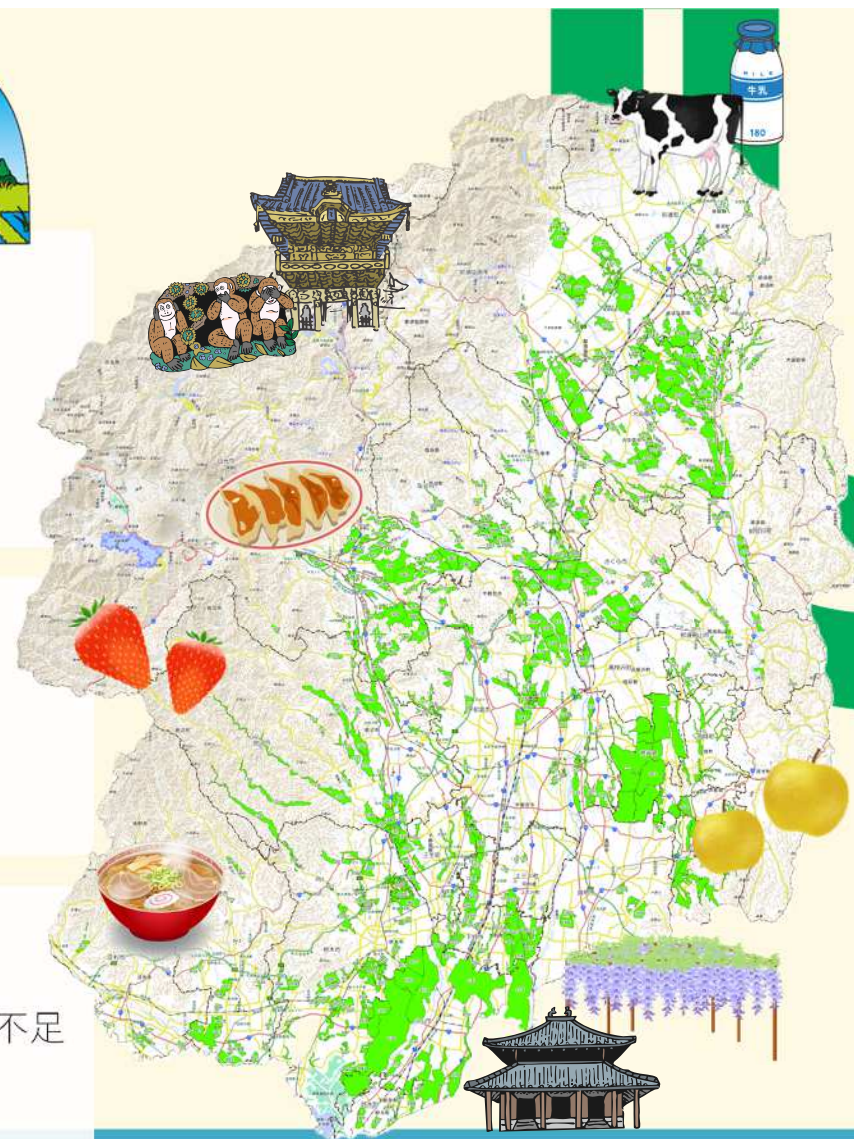
農地維持	430組織（23市町）	交付対象面積42,408ha
資源向上	247組織（22市町）	交付対象面積29,364ha
施設長寿命化	46組織（12市町）	交付対象面積 8,539ha

課題1 人材不足

- ・組織のリーダーのなり手不足、維持活動参加者の減少
- ・活動の担い手の高齢化

課題2 情報共有と交流

- ・地域内の話合いの機会の減少 ➡ 地域課題解決に向けた連携・議論の不足
- ・組織間や地域間の交流不足 ➡ 地域活性化波及効果への影響

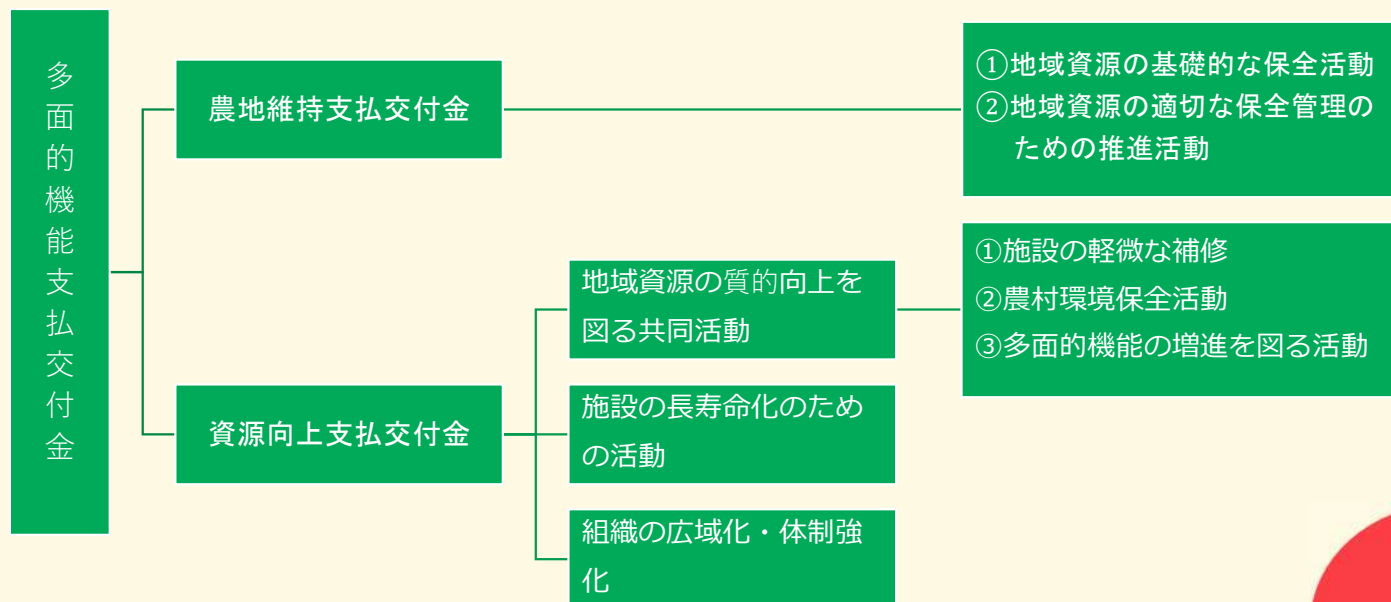


多面的機能支払交付金



制度とは？

多面的機能支払交付金制度は農地や水路、農道などの地域資源の適切な保全管理を行う共同活動に対し、国や県、市町村が財政的な支援を行う仕組みです。この交付金は、地域の共同活動の継続と活性化を促し、農村の持つ多様な価値を守るための重要な原動力となっています。



TANOPO：解決策と挑戦

TANOPO

TANOPOとは

とちぎっ子集まれ!! ▼

活動ブログ

Instagram

つながる広場

お知らせ

お問い合わせ

命をつなぐ 食をつなぐ
心を紡ぐ 想いを紡ぐ

TANOPOにアクセス！



TANOPOの多彩なコンテンツ



活動ブログ



とちぎっ子集まれ!!



つながる広場



SDG s



制度



様式



「つながる広場」で広がる新たな可能性



人手が足りない・・・
誰か手伝ってくれないかな



- ・人手不足で悩んでいる
- ・新しい活動の始め方がわからない

組織A



農村に行って
できることを！



- ・農村地域で活動がしたい
- ・ボランティアをしたい

都市住民

地域を多様な人材で支える
体制づくり



都市住民と
交流できないかな



- ・新しいことを始めたい
- ・様々な活動をしている

組織B

マッチングの流れ ～誰でも簡単、5ステップ～



つながる広場にアクセス！

成功事例：小さな奇跡から大きな変化へ

●生きもの調査（宇都宮市）



●収穫祭（益子町）



●JRヒマワリ播種（那須烏山市）



成功事例一覧

●事例詳細1：水路の堀さらい



【参加者のコメント】

堀に入って泥をかき出してみると、想像以上に重労働で、すぐに汗だくに。きれいになった堀に勢いよく水が流れていくのを見たとき、自分たちも地域の一員として貢献できたような大きな達成感があった。普段、座学として学んでいることが、現場でどのように実践され、支えられているかをリアルに知ることができた。これは教室の中だけでは絶対に得られない学びだ。

●事例詳細2：コスモス畑の草刈り



【参加者のコメント】

草刈りの光景は良く見ていたけど、簡単という認識が一瞬にして吹っ飛んだ。
作業中の事故事例など、きちんとした知識と十分な安全対策が必要だということが講習から学べて良かった。実地では、刈払機の扱い方など丁寧に指導いただき、組織の皆さんと楽しく参加できた。安全講習があると初心者でも参加しやすい。

事例詳細 3：小山用水土地改良区と企業の画期的な連携




■ 小山用水土地改良区と地元企業との協定締結式 (2025年5月8日)




■ 地元企業との協定


小山用水土地改良区は、地域の農村が直面する高齢化や担い手不足などの課題に対し、地元企業4者と協定を締結しました。

■ 参加企業

 栃木ゴールデン
プレーブス

 齊藤組

 銅市金属工業

 坪野谷紙業



■ 協定の内容

企業が農地や水路の草刈り、泥上げといった農地維持活動に協力することです。これにより、地域資源の適切な保全管理を維持し、農村の多面的機能の発揮を支援します。